

# 大型公共工事推進の 自民・公明・維新のオール与党県政を転換し、 災害の危険から県民の命を守る 公共工事への抜本的転換を

兵庫県の高速道路総延長距離は北海道に次いで全国第2位。それにもかかわらず、今後さらに115kmの高速道路整備計画を推進しています。しかし、県内ではすでに自動車保有台数、人口ともに減少に転じています。また高速道路建設は特殊技術を要するため地元建設業者の受注率は約40%程度と低くなっています。

一方で、自然災害が多発する中、県内の河川整備率は59%、土砂災害警戒区域の整備率は26%に留まっています。

限られた予算の中で、不要不急の大型公共工事を推進する施策を改め、地元業者も直接受注のできる防災・減災型公共工事への抜本的転換こそ必要です。



- ① 夢前町で発生した土砂災害現場を調査
- ② 浸水した上余部を調査
- ③ 災害救援募金の訴え



党副委員長 / 参議院議員  
山下よしき

党国会議員団兵庫事務所長  
金田 峰生

制度解説 参議院選挙投票方法

比例代表は「**日本共産党**」  
政党名を書きます (候補者名でも投票できます)

選挙区は「**候補者の名前**」  
を書きます

県会、市会 力を合わせてがんばります



市議会議員  
谷川まゆみ



市議会議員  
森ゆき子



市議会議員  
苦瓜かずしげ



姫路市くらし・経済対策委員長  
村原もりやす



**日本共産党**

9条改憲、  
消費税10%増税の  
安倍政権に  
兵庫から厳しい審判を

いり え  
**入江次郎**  
兵庫県会議員  
じ ろ う

**ごあいさつ** 兵庫県は行財政構造改革(行革)の名のもとに、重度障がい者・ひとり親家庭・高齢者の医療費助成など、本来行政が最も手厚く措置を講じなければならない制度を次々と後退させてきました。

一方で、県は行革期間中であっても高速道路など不要不急の大型公共事業を拡大しています。また内部留保額が2兆円超、関西に本社を置く企業の中

では最も力のあるパナソニック(株)に対して企業誘致補助金として70億5千万円を支出しました(姫路市と合わせれば約150億円)。

このような大型公共工事優先、大企業優遇の自民・公明・維新のオール与党県政を改め、防災・減災型公共工事への転換、県民のいのちと暮らしが大切にされる県政の実現を目指して全力で頑張ります!!

民報ひめじ

発行：日本共産党姫路市委員会 姫路市本町201  
TEL 079-288-4110 FAX 079-288-2542

2018・2019年号外

日本共産党姫路市委員会の見解を紹介します。

入江次郎

検索

